

平成26年度宮沢賢治記念館運営審議会会議録

出席委員 中島健次（会長）、鈴木守、紺野佳子、多田章、晴山ノリ

欠席委員 高橋則子（会長職務代理者）、川村哲夫

事務局 花巻市生涯学習部長 細川祥

太田館長、牛崎副館長、中島上席主任、滝浦上席主任

委員改選したため、出席委員より自己紹介

1 開 会 牛崎副館長

2 あいさつ 細川部長
太田館長

3 議事

(1) 会長の選出について 中島健次氏を選出

(2) 会長職務代理者の指名について 高橋則子氏を選出、ただし欠席のため後日確認

(3) 平成25年度事業報告について 牛崎副館長説明

(紺野委員) 以前記念館にお世話になったこともあったが、当時に比べると催し物があり、望んでいた方向で非常によく行われていると改めて感激しているところです。こうありたいな、と思ってもなかなかできないことが多いが、こんな風に市民や（賢治）に関心のある人たちにいろいろな場を提供できたということは記念館であるんだけれども記念館にすまない、いろんなことを発信する賢治の心を皆に広げていく貴重な館だと思うんですね。こんな形で多方面に広がって来たということは望ましいな、と思います。限られた人たちでこんなにたくさんやられて実は本当に関心しているところです。いろんな会議に参加できれば良かったな、と今反省しているところです。

(副館長) 昨年の世界セミナーには参加されたんですか。

(紺野委員) 小学生を対象に宮沢賢治の世界を語りかけたわけですがけれども、子供らからの反応がたいへんよかったです。これだけ子供たちが感激してくれているんだったら、それをどういう風に記念館につなげていくか、賢治の作品に触れさせる継続していくものが何かあればいいな、その場だけの感激で終わらないでぜひ中学生になっても高校生になっても大人になっても賢治のことを考えていく、支えにしていくそういう市民に育つといいなというのが皆さんの感想でした。

(鈴木委員) 気になったのは記念館の入館者が減っている、安定しないというのが気にな

っていて、何かいい方法がないのかと思うのですが、賢治が若い人たちに興味・関心を持ってもらっている感じがしますので、賢治のことはわからないことがたくさんあると思いますので、そういうところを発掘しながら記念館で展示していければと思います。

(太田館長) 増となるかわかりませんが、子供たちをとおして宮沢賢治さんの考え方、聞き方に興味を持ってもらう、そこが一番のポイントだと思うんですね。この施設に来るお客さんは高齢者の方が多いんですよ。高齢の方に来ていただいて結構なんですけれども、それよりもこれからの未来を担う子供たちにどういう風に賢治さんに興味を持ってもらうかがものすごく大事なことだと思うんですね。そのためにはボランティアガイドの方いらっしゃいますよね、その方々が賢治の生き方、考え方を子供の胸に響くようなそういう風なことをしていただいて宮沢賢治というのは距離感があるような説明じゃなくて、自分たちも少し取り組みばこういう人になれるのかな、そういう風なこの説明が賢治さんを魅力的に語るというのが非常に大事なことです。それがあればこの日本は安心なのかなと勤めていて感じます。

(中島会長) 特効薬はないけれども地道なことですよ。

(太田館長) ありがたいことに本屋さんに行くと賢治さんが亡くなっても本が並べられているというのが皆さんにアピールするポイントだと思うんですね。そういうところから宮沢賢治という人に興味を持ってもらうようにできればいいと思うんですけども。

(多田委員) 胡四王山の下に住んでいまして、小さいころから野山を駆け巡って遊んでいたというもので、鈴木委員がおっしゃった入館者が減っているというのも気になる場所ですし、宮沢賢治さんについては学校で授業とかで確か教本がありますし、それに関連して賢治記念館のほうにもおいでになってるのかな、と思うんですけども。減っているというのは何か要素があるのではと思いますが、何かいい案があればいいと思うんですけどね。冬場の坂道ですとかね、そういうのもあるかと思いますが。少しでも解決しなければならぬことがあればお手伝いできればと思います。

(晴山委員) 孫に「おばあちゃんてくのぼうってどういう棒なの？」と聞かれました、「はて、てくのぼうったら棒きれだべ」、なんたな棒なのか聞いてくるからということで誰か聞いたらいかべ、って職場の人さ「てくのぼうってなんたなぼうだべ？孫さ聞かれたけれどもしゃべれねがった、教えてけねがや」、その人もしゃべれねがったや。「は～、じゃこういう会があるから、んじゃ行ってみるべし」っていうことで行って、ほんとに微々たることしかわかりません。石鳥谷でもこの間20周年で石鳥谷賢治の会20周年だったのですが、本当に微力で何もわからないけれども皆と一緒にここまで来ました。引き寄せてくれたことに感謝です。

(中島会長) わからないところが賢治さんの魅力でもある。

(紺野委員) 小学校に勤務しながら小学生がどれだけここに親しんでいるか考えると責任を感じて至らなかったなあと感じているのですが、先ほど館長さんがおっしゃったよ

うに小学生の時代にここに親しむ、本当に大事なことだと思うんですね。私ちょっと事情がありまして川崎市に行っておりましたが、そこで子供が毎週図書館に行くのが習慣なんですね。花巻ではどうだろう、毎週記念館に小学生が来てどうだろうかと考えたんですね。それを受け入れるものがここにあれば来るんだけど、小学生が毎週来た時に何をここで展示するだろうか、今度リニューアルに向けて子供が毎週来るのが習慣になるような、交通の関係もあるかもしれませんが、子供が行きたいとなれば親は連れてくると思う。ですからぜひリニューアルに向けていろいろな企画をしているのですから、それをここに向けてくれる子供のために考えていければと思う次第です。

(4) 平成26年度事業計画について

牛崎副館長説明、坂道道路の融雪については細川部長説明
(中島会長) 博物館での代替展示について、これはやる方向で進んでいるということでしょうか。

(細川部長) 方向性としてはそうです。当初予算を組む時にこのことは想定していなかった、詰め切れてなくて結局経費的な部分ですね、現在ゼロなので調整する方向でいっているけれどもやはり予算を確保しないと実現できないという意味でも調整している。休館中にいらしたお客様に対応して、やはり申し訳ないという小規模で物足りない部分はあるかもしれないけれど、ゼロでない形で何とかやっていきたいということで博物館での展示利用ということで進めております。

(中島会長) そうですね。リニューアルを知らないで来る方もあるでしょうし、もう一つ私博物館の運営審議会委員もしているのですが、博物館だけではよくやっているなどという入館者(数)なので、企画展、先日だと藤代清治さんと貸館的な今年は絵本とか博物館にとってもいい企画だと思うんです。

(5) 展示リニューアルについて 細川部長、牛崎副館長説明

それぞれ持ち帰り、意見があれば8月いっぱいまでお知らせください。

4 その他

(多田委員) 最近熊の情報が多いですが、記念館では何か対策をとっているのでしょうか。

(細川部長) 農林担当課から聞くと昨年山が豊作だったため、小熊の頭数が増えているのではないかという見方が出ている。頭数が多いと食べ物の競争になるので、子供の時に里におりてきていい思いをした熊が川を越えてやってくる、ということがあるようです。

(中島会長) 安全対策というか、周知はしているわけですね。あまり騒いでもね。

(細川部長) タイミングとか時間帯によって出ることもある、という状況です。

(紺野委員) 花巻温泉では鐘置いてますね。釜淵の滝に降りるところに。昨年行った時に
鳴らしたような気がします。

(細川部長) それは一つの方法ですね。

5 閉 会 牛崎副館長